

FEYNLAB® PLASTIC V2

製品概要

FEYNLAB PLASTIC V2 で車の外観を復元し、色あせた車のプラスチックをよみがえらせ、保護します。改良された配合により、劣化したトリムを復元し、さらなるダメージから守る持続的な保護を提供します。愛車を常に美しく保ちたい自動車愛好家に最適で、耐久性と効果の高さで知られる DIY 向けの車用プラスチックトリムの最良の復元剤として評価されています。

なぜ FEYNLAB® Plastic V2 修復剤を選ぶ理由？

FEYNLAB の革新的なプラスチック修復剤のフォーミュラは、自動車のプラスチックに深く浸透し、元の色と光沢をよみがえらせます。この車のトリム修復剤は、ダメージを隠すだけでなく、車のプラスチック部品を内側から再生させ、長持ちする変化を保証します。他のプラスチック修復剤製品とは異なり、FEYNLAB® PLASTIC V2 は比類のない耐久性を提供します。1 回の塗布で、車のトリムを色あせ、酸化、環境汚染物質から最大 1 年間保護します！

多用途な適用先:

バンパー

サイドミラー

ドアハンドル

ダッシュボード

窓枠トリム

また、黒いプラスチック素材に特化したブラックバージョンも利用可能です。

耐久性、施工可能箇所

適用が承認された表面のみ：未承認の表面には適用しないでください。

外装のテクスチャードプラスチック

外装のプラスチックバンパー

*取扱説明書に明示されていない表面に FEYNLAB 製品を使用する場合は、ユーザー自身の責任で行ってください。リストに記載されていない表面に製品を使用した結果、表面に損害が生じた場合、当社はその損害に対して一切の責任を負いません。

製品内容

FEYNLAB PLASTIC V2-30ml

施工面の準備

車両を徹底的に洗浄するために、FEYNLAB® PURE WASH または PURE RINSELESS を使用してください。より深いクリーニングが必要な場合は、FEYNLAB PANEL PREP を使用してください。塗布の前に、車両を適切に照明された温度管理された環境 (10°C から 30°C) で、汚染物質がない場所に配置してください。

使用方法

1. 塗布前に、車両を照明が十分で温度が 50° F ~ 85° F (10° C ~ 30° C) の環境に置き、汚染物質がないことを確認してください。湿度が低い方が理想的です。
2. 使用前にボトルをよく振ってください。
3. マイクロファイバーアプリーケーターを使用して、少量の PLASTIC V2 を塗布し、表面にしっかりと擦り込んでください。製品量は、エリア全体に均等にコーティングできる程度で、過剰に塗布しないようにしてください。
4. 5~10 分間放置し、製品がプラスチックに浸透するのを待ちます。または、必要に応じて 5~10 分の間に追加で塗布します。
5. 5 分経過後、最初に塗布を始めた場所に戻り、表面を均等に整え、余分な製品を拭き取ります。
6. **複数回のコートを行う場合:** 追加のコートの間に、塗布後少なくとも 12~24 時間 (または一晩) 乾燥させてください。

注意: 必要な製品量は、プラスチックトリムの種類や状態により異なります。酸化が進んで色あせたトリムには、復元のためにより多くの製品が必要になることがあります。非常に色あせた黒いプラスチックには、FEYNLAB® PLASTIC BLACK を使用してください。PLASTIC V2 が完全に硬化した後、追加の保護と撥水性を得るために OVERCOAT を重ね塗りすることができます。

最終仕上げチェック

最終拭き取りの際、すべてのパネルに残ったコーティングの残留物 (高スポット) がないか慎重に確認してください。特にエッジやエンブレム、狭い場所に残りやすいことがあります。高スポットは、最終拭き取り後 20~40 分以内に発見すると、後でコーティングが固まり硬化し始める前に、はるかに簡単に取り除くことができます。

塗布直後に、できる限り長い時間、表面を日光に当てて硬化させることを強く推奨します。

施工後の取扱い

4 時間は水がかからないようにしてください。もし水がかかってしまった場合は、表面の水分を優しく拭き取ってください。

7 日間は洗車機を含むすべての化学薬品を避けてください。

気温と湿度に関する注意点

すべての FEYNLAB®コーティングは、湿度と温度によって滞留時間と硬化時間が異なります。一般に、湿度が高いほど塗膜は早く硬化します。湿度が 80%以上になる場合は、コーティング剤の推奨滞留時間と拭き取り時間を短くすることを検討してください。

保存期間

未開封で約 2 年間

開封後は、3～4 ヶ月以内にご使用下さい。使用しない時は、必ずキャップをつけておいてください。